

ホウの
自治基本条例メモ

第11話

お問い合わせ
政策調整課(米原庁舎)
☎52-6626 ⑤52-5195

わたしのおじいちゃん
は、伊吹山テレビで
「米原市議会の生中継」
をいつも見ているって
言っていたわ。



あとはパソコンや
携帯電話から見られ
る「米原市公式ウェブ
サイト」や、年に1回
発行される「みんな
にわかるみんなのま
いばら予算」などが
あるんだ。



他にも何かあるかな？



あれから、広報まい
ばらとか伊吹山テレ
ビとか、前よりよく
見るようになったわ。



前回は、情報共有が
まちづくりのはじめ
の一歩だよっていう
おはなしたったね。



②

①

じゃあ、今
度までにそ
の方法をほ
くが調べて
くるよー！



実は意見を伝えるための
方法は、ちゃんとあるん
だよ。



そうよ！みんな伝えたい
意見やアイデアを持って
いるかもしれないわ。



みんなも
しら調べてみて！



④

③

ところで、ぼくたちからも
伝えたいことがある場合は
どうすればいいの？



そうなんだ。情報は伝え
たい相手にわかりやすく
伝えることが大切だね。

でも、いろいろ情報はある
んだけど、どれもなんだか
難しい内容が多い気がする。



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をレポートします。

発達障がいサポートネット
でこぼこフレンズ

- 会 員 17人
- 活動内容 定例会毎月1回・特別事業
- 会 費 入会金2,000円 年会費3,000円
賛助会員年会費 2,000円
- 連絡先 ☎080-6132-8439 (理事長:吉川)
dekobokofriends2006npa@yahoo.co.jp

● グループからのメッセージ
7月17日(日)・23日(土)に講演会を開催。詳しくは16ページで！また、8月2日(火)~20日(土)に開催するサマースクールのボランティアを募集しています。

でこぼこフレンズは、発達障がいへの理解が深まり、過ごしやすい社会になるようにと活動されています。ひまわり教室に通う保護者が集まって「発達障がいを持つ子どもの親の会」として活動を始められ、2010年10月にはNPO法人の認定を受けられました。最初はやっていけるのかどうか迷いがあったそうですが法人化したことで活動の幅も広がったそうです。

そして、発達障がいのことを広く知ってもらうための講演会や、親子で楽しめるイベントなどをエネルギッシュに行われています。さらに、スタッフのみなさんは市内にとどまらず、市外・県外の方とも交流を深め、発達障害者手帳の制定を求める署名運動にはネットを活用して香川、埼玉、兵庫の方とも協力されたそうです。今後は、スポーツに親しむ機会を作りたいとのこと。

発達障がいは昔からありましたが、一般的に知られるようになったのは最近です。周りの人が、発達障がいのこと、行動の特徴のことを知り、理解することが必要です。私たちにできることは、まず「知る」ことから。今回、お話を伺ったことで一歩前進したような気がします。

自閉症をもつ子どもだとわかるようにと、でこぼこフレンズが作成したシンボルマークのバッジ。2つのハートマークは、健常者と障がい者が互いを思いやり、理解し合う姿を表しているそうです。



お問い合わせ 政策調整課(米原庁舎) 掲載希望はこちらまで
☎52-6626 ⑤52-5195